

# 小田地区 防災まちづくり懇談会ニュース

令和元年10月発行

## 第3回「防災まちづくり懇談会」を開催しました！

### 第3回「防災まちづくり懇談会」概要

日時：令和元年 9月12日（木）18:00～19:30

場所：田島中学校 特別活動室

- 内容：① これまでの課題等の共有  
② 将来像やルールづくりの検討  
③ 意見交換会

参加者：小田地区町内会連合会・小田1丁目町会より 24名



当日の様子

### ◆これまでの懇談会での意見を踏まえ、課題等の共有をしました。

これまでの懇談会では、小田のまちについての意見交換やまち歩きを行い、まちの状況や課題と一緒に考えていき、そこからわかった課題等についてまとめ、共有しました。

#### 建物の課題

- 老朽化の進んだ戸建、アパート（木造）が多い
- 空家が増えてきており、管理不全の建物も多い
- そこから起こる問題—
- 倒壊しやすい
- 火が燃え広がりやすい

#### 道の課題

- 相互通行で狭い道が多い
- 狭く一方通行が多い
- 袋小路の道が多い
- そこから起こる問題—
- 緊急車両が通れない
- 火災時に避難が遅れる

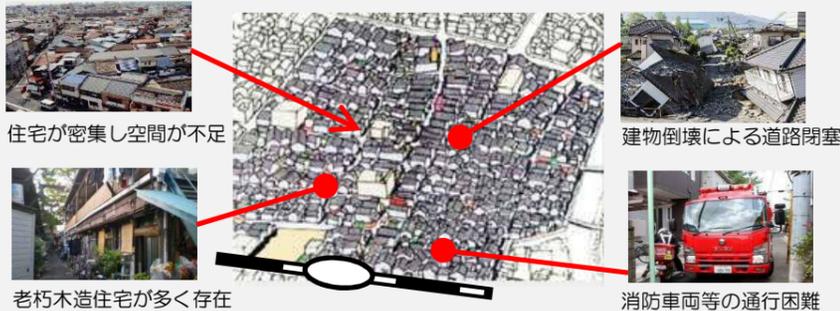
#### 空地の課題

- 一時避難場所がない
- 公園が少ない
- そこから起こる問題—
- 身の安全が守れない

### ◆小田地区の将来像について、話し合いをはじめました。

地区の課題解決に加えて将来像を検討することで、地域価値の向上へとつながります。そのため小田地区が、めざす将来像について皆さんで考えていきましょう。

#### ●密集市街地が抱える課題



### ◆まちづくりのルールについても、話し合いをはじめました。

まちの特性や実情に合わせた、きめの細かいまちづくりを推進するために、「まちづくりに必要なルール」をつくっていく必要があります。

また、小田2、3丁目を対象に実施したアンケート\*では、約9割の方がまちづくりのルールが必要と感じている結果となっています。

\*平成30年7月に実施（回答数420世帯）



### ◆懇談会では、課題解決と将来像について、今後考えていきます！

#### 課題解決の方法検討

**ボトムアップ**  
避難経路整備や不燃化の促進による「防災対策」「安全性の強化」

+

#### 小田地区の将来像検討

**バリューアップ**  
地区の特性を活かした「日常生活の質の向上」「地区の魅力・価値の増進」

密集市街地の改善には、老朽建築物建替えや避難路の形成などの課題解決が必要不可欠です。無秩序に行っては、まちの魅力向上はなかなか難しいところです。今後は、「課題解決の方法」と「小田地区の将来像」を検討していき、密集市街地の改善とまちの魅力向上を合わせて考えていきます。

### ◆意見交換で話し合っただいた主な意見を紹介します！

#### 【発表であった主な意見】

- 将来について考えるのであれば若い人とも議論を行いたい。
- 小田踏切の課題解決や駅前広場が必要ではないか。
- 小田3丁目を中心に浸水被害があるので改善が必要である。
- 敷地分割されないように最低敷地のようなルールは必要だ。
- 狭い道を拡幅していく手法で、壁面後退が有効ではないか。

#### 【アンケートであった主な意見】

- 小田将来像を考えつつ、1つ1つの課題をクリアしていきたい。
- 行政としてのルールづくりや情報発信が必要と感じる。
- 安心して移動できる受け皿（住宅）があれば、まとまった規模で建替えが出来るのではないか。



防災まちづくり懇談会に少しでもご興味のある方は、お近くの町会関係者へお問い合わせ頂くか、下記の連絡先までご連絡頂ければと思います！